

2019年度 受験対策用

簿記 2 級

問題集



～目次～

第1章 収益・費用の認識基準	p.2
問題1 発生主義と実現主義	問題2 収益の認識基準
第2章 商品売買・サービス業	p.3
問題3 三分法と売上原価対立法	問題4 仕入割戻し・仕入割引
問題5 売上割戻し・売上割引	問題6 棚卸減耗損・商品評価損
問題7 サービス業の処理①	問題8 サービス業の処理②
問題9 サービス業の処理③	
第3章 外貨建取引	p.6
問題10 外貨建取引	問題11 外貨建金銭債権債務の換算
問題12 為替予約①	問題13 為替予約②
第4章 手形	p.10
問題14 手形の割引き	問題15 手形の裏書譲渡
問題16 手形の不渡り	問題17 手形の更改
問題18 営業外支払手形・営業外受取手形	問題19 債権の譲渡
第5章 銀行勘定調整表	p.12
問題20 銀行勘定調整表	
第6章 固定資産	p.12
問題21 固定資産の割賦購入	問題22 固定資産の減価償却①
問題23 固定資産の減価償却②	問題24 固定資産の売却
問題25 固定資産の買換え	問題26 固定資産の除却と廃棄
問題27 固定資産の滅失	問題28 建設仮勘定
問題29 圧縮記帳	問題30 無形固定資産
第7章 リース取引	p.16
問題31 オペレーティング・リース取引	問題32 ファイナンス・リース取引

第 8 章 有価証券	p.17
問題 33 売買目的有価証券	問題 34 満期保有目的債券
問題 35 子会社株式・関連会社株式	問題 36 その他有価証券
問題 37 端数利息	
第 9 章 引当金	p.20
問題 38 貸倒引当金	問題 39 製品保証引当金
問題 40 売上割戻引当金	問題 41 返品調整引当金
問題 42 退職給付引当金	問題 43 賞与引当金
問題 44 修繕引当金	
第 10 章 純資産	p.22
問題 45 株式の発行①	問題 46 株式の発行②
問題 47 株式発行費用	問題 48 剰余金の配当と処分①
問題 49 剰余金の配当と処分②	問題 50 株主資本の計数の変動
第 11 章 税金	p.25
問題 51 課税所得の算定と法人税等の計算	問題 52 税効果会計①
問題 53 税効果会計②	問題 54 税効果会計③
問題 55 消費税	
第 12 章 その他の論点	p.27
問題 56 合併	問題 57 研究開発費
問題 58 保証債務	
第 13 章 精算表と財務諸表	p.28
問題 59 精算表の作成①	問題 60 精算表の作成②
問題 61 財務諸表の作成	問題 62 製造業会計
第 14 章 本支店会計	p.34
問題 63 本支店会計①	問題 64 本支店会計②

第 15 章 連結会計①	p.35
問題 65 支配獲得日の処理	問題 66 支配獲得後の処理①
問題 67 支配獲得後の処理②	

第 16 章 連結会計②	p.38
問題 68 連結会社間の取引の消去	問題 69 未実現利益の消去①
問題 70 未実現利益の消去②	問題 71 連結精算表①
問題 72 連結精算表②	問題 73 連結財務諸表



問題編

レッスンのあとは
オイラと一緒にトレーニング♪
手と頭をフル回転させて
処理を体でおぼえよう！



～第1章 収益・費用の認識基準～

問題1 発生主義と実現主義

解答解説 p.2

次の文章の中の（ ア ）から（ エ ）に入る最も適切な言葉を語群の中から一つ選び、番号で答えなさい。

1. 基本的に収益は（ ア ）により認識され、費用は（ イ ）により認識される。
2. 売上という収益の認識基準には出荷基準、引渡基準および検収基準とがあるが、この中で収益に計上されるタイミングが一般に最も遅くなるのは（ ウ ）である。
3. （ エ ）により、一会計期間に発生した費用のうち、（ ア ）により認識された収益に対応する金額が損益計算書に計上される。

語群

- | | | |
|-----------|--------------|---------|
| 1. 現金主義 | 2. 費用収益対応の原則 | 3. 発生主義 |
| 4. 重要性の原則 | 5. 実現主義 | 6. 保守主義 |
| 7. 出荷基準 | 8. 引渡基準 | 9. 検収基準 |

問題2 収益の認識基準

解答解説 p.2

下記の一連の取引について、①出荷基準と②検収基準により仕訳しなさい。なお、三分法で処理し、仕訳が必要ない場合は借方科目欄に「仕訳なし」と記入すること。

1. 得意先千葉商店より商品¥10,000（原価¥7,000）の注文が入り、代金は掛けとして本日発送した。
2. 上記1の商品に関し、千葉商店より注文どおり商品が届き検収が終了した旨の連絡が入った。

～第2章 商品売買・サービス業～

問題3 三分法と売上原価対立法

解答解説 p.3

下記の一連の取引について、①三分法と②売上原価対立法により仕訳しなさい。ただし、勘定科目は次の中からもっとも適当と思われるものを使用すること。なお、仕訳が必要ない場合は借方科目欄に「仕訳なし」と記入すること。

現	金	売	掛	金	繰	越	商	品	商	品
買	掛	金	売	上	仕		入		売	上
									原	価

1. 商品¥30,000を仕入れ、代金は掛けとした。
2. 商品（原価¥30,000、売価¥45,000）を売り上げ、代金は掛けとした。
3. 決算日における期首商品棚卸高は¥10,000、期末商品棚卸高は¥15,000であった。

問題4 仕入割戻し・仕入割引

解答解説 p.4

下記の各取引について三分法により仕訳しなさい。ただし、勘定科目は次の中からもっとも適当と思われるものを使用すること。

現	金	当	座	預	金	売	掛	金	買	掛	金
売	上	仕		入		仕	入	割	引	売	上
										割	引

1. 先日掛けで仕入れた商品¥30,000について¥1,000分を返品し、また¥3,000の割戻しを受けた残額を当座預金から支払った。
2. 仕入先に対する買掛金¥50,000について、早期に決済したことにより2%の割引を受け、残額は小切手を振り出して支払った。

問題5 売上割戻し・売上割引

解答解説 p.4

下記の各取引について三分法により仕訳しなさい。ただし、勘定科目は次の中からもっとも適切と思われるものを使用すること。

現	金	当座預金	売掛金	買掛金
売	上	仕入	仕入割引	売上割引

1. 先日掛けで売り上げた商品¥50,000 について¥5,000 の割戻しを行った。
2. 得意先に対する売掛金¥100,000 について早期に決済が行われたため、2%の割引きを行い、残額は先方振出の小切手で受け取った。

問題6 棚卸減耗損・商品評価損

解答解説 p.5

下記の【資料】にもとづき、①期末帳簿棚卸高、②棚卸減耗損、③商品評価損を求めなさい。

【資料】

期首商品棚卸高：¥20,000

当期商品仕入高：¥250,000

期末商品棚卸高：¥？

帳簿棚卸数量：100個

実地棚卸数量：90個

単価：原価@¥100 時価（正味売却価額）@¥80

問題7 サービス業の処理①

解答解説 p.5

下記の一連の取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は次の中からもっとも適切と思われるものを使用すること。

現	金	当	座	預	金	売	掛	金	前	払	金
仕	掛	品	買	掛	金	前	受	金	未	払	金
売	上	役	務	収	益	仕		入	役	務	原 価

1. 資格試験の受験学校を経営している最速学園は、7月28日、8月開講予定の簿記講座（受講期間1年）の受講料¥300,000を現金で受け取った。
2. 3月31日、本日決算にあたり上記1の取引について収益を計上した。なお、上記講座は決算日現在、全体の3分の2が完了している。

問題8 サービス業の処理②

解答解説 p.5

下記の一連の取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は次の中からもっとも適切と思われるものを使用すること。

現	金	当	座	預	金	売	掛	金	前	払	金
仕	掛	品	買	掛	金	前	受	金	未	払	金
売	上	役	務	収	益	仕		入	役	務	原 価

1. 旅行業を営む最速ツーリスト株式会社は、3泊4日のツアーを企画したところ、顧客10名からの申込みがあり、代金合計¥600,000を現金にて受け取った。
2. 上記1のツアーを催行し、宿泊代や移動のための交通費や添乗員への報酬など、¥400,000を小切手を振り出して支払った。

解答解説編

間違ってしまったところや
不安なところは
必ずテキストに戻って
再確認してね♪



問題 1 発生主義と実現主義

ア	5	イ	3	ウ	9	エ	2
---	---	---	---	---	---	---	---

1. 基本的に収益は（**実現主義**）により認識され、費用は（**発生主義**）により認識される。
2. 売上という収益の認識基準には出荷基準、引渡基準および検収基準とがあるが、この中で収益に計上されるタイミングが一般に最も遅くなるのは（**検収基準**）である。
3. （**費用収益対応の原則**）により、一会計期間に発生した費用のうち、（**実現主義**）により認識された収益に対応する金額が損益計算書に計上される。

問題 2 収益の認識基準

①出荷基準

	仕		訳	
	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1	売 掛 金	10,000	売 上	10,000
2	仕 訳 な し			

出荷基準では商品を出荷したときに売上を計上します。

②検収基準

	仕		訳	
	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1	仕 訳 な し			
2	売 掛 金	10,000	売 上	10,000

検収基準では商品の検収が完了したときに売上を計上します。

問題3 三分法と売上原価対立法

①三分法

	仕		訳	
	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1	仕 入	30,000	買 掛 金	30,000
2	売 掛 金	45,000	売 上	45,000
3	仕 入	10,000	繰 越 商 品	10,000
	繰 越 商 品	15,000	仕 入	15,000

1. 商品を仕入れたときは仕入で処理します。
2. 商品を売り上げたときは売上で処理します。
3. 期首商品棚卸高を繰越商品から仕入に振り替え、期末商品棚卸高を仕入から繰越商品に振り替えます。『シークリ・クリシー』です。

②売上原価対立法

	仕		訳	
	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1	商 品	30,000	買 掛 金	30,000
2	売 掛 金	45,000	売 上	45,000
	売 上 原 価	30,000	商 品	30,000
3	仕 訳 な し			

1. 商品を仕入れたときは商品で処理します。
2. 商品を売り上げたときは売上で処理するとともに、売り上げた商品の原価を商品から売上原価に振り替えます。
3. 売り上げるつど売上原価を計上しているため、決算日に売上原価算定の仕訳は必要ありません。

問題4 仕入割戻し・仕入割引

	仕 訳			
	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1	買 掛 金	30,000	仕 入 当 座 預 金	4,000 26,000
2	買 掛 金	50,000	仕 入 割 引 当 座 預 金	1,000 49,000

1. まず、掛けで仕入れたときは次のように仕訳しています。

(仕 入) 30,000 (買 掛 金) 30,000

- ①返品と割戻しは、仕入れたときの逆仕訳をします。

(買 掛 金) 4,000 (仕 入) 4,000

※ $¥1,000 + ¥3,000 = ¥4,000$

- ②買掛金の残額を当座預金で支払っています。

(買 掛 金) 26,000 (当 座 預 金) 26,000

※ $¥30,000 - ① = ¥26,000$

上記①と②を合わせると解答の仕訳になります。

2. 仕入割引を受けたときは、減額される分を仕入割引で処理します。

仕入割引： $¥50,000 \times 2\% = ¥1,000$

問題5 売上割戻し・売上割引

	仕 訳			
	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1	売 上	5,000	売 掛 金	5,000
2	売 上 割 引 現 金	2,000 98,000	売 掛 金	100,000

1. 割戻しをしたときは、売り上げたときの逆仕訳をします。

(売 上) 5,000 (売 掛 金) 5,000

2. 売上割引をしたときは、減額した分を売上割引で処理します。

売上割引： $¥100,000 \times 2\% = ¥2,000$

問題6 棚卸減耗損・商品評価損

①	10,000 円
②	1,000 円
③	1,800 円

①期末商品棚卸高

@ ¥100 × 100 個 = ¥10,000

原価@ ¥100

時価@ ¥ 80

③商品評価損 (@ ¥100 - @ ¥80) × 90 個 = ¥1,800	②棚卸減耗損 @ ¥100 × (100 個 - 90 個) = ¥1,000
---	---

実地棚卸数量

90 個

帳簿棚卸数量

100 個

問題7 サービス業の処理①

	仕 訳			
	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1	現 金	300,000	前 受 金	300,000
2	前 受 金	200,000	役 務 収 益	※ 200,000

1. サービスの提供前に代金を受け取ったときは前受金で処理します。
2. サービスを提供した分だけ前受金から役務収益に振り替えます。

役務収益：¥300,000 × 2/3 = ¥200,000

問題8 サービス業の処理②

	仕 訳			
	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1	現 金	600,000	前 受 金	600,000
2	前 受 金	600,000	役 務 収 益	600,000
	役 務 原 価	400,000	当 座 預 金	400,000

簿記 2 級

商業簿記

問題集

答案用紙

問題 1 発生主義と実現主義

ア		イ		ウ		エ	
---	--	---	--	---	--	---	--

問題 2 収益の認識基準

①出荷基準

	仕		訳	
	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1				
2				

②検収基準

	仕		訳	
	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1				
2				

問題 3 三分法と売上原価対立法

①三分法

	仕		訳	
	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1				
2				
3				

②売上原価対立法

	仕		訳	
	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1				
2				
3				

問題4 仕入割戻し・仕入割引

	仕		訳	
	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1				
2				

問題5 売上割戻し・売上割引

	仕		訳	
	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1				
2				

問題6 棚卸減耗損・商品評価損

①	円
②	円
③	円

問題7 サービス業の処理①

	仕 訳			
	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1				
2				

問題8 サービス業の処理②

	仕 訳			
	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1				
2				